

~ 目標 ~

医療・福祉ビジネスの発展を通じ、

- 国民が享受できる医療・福祉サービスの選択肢を広げる
- 高齢化・人口減少が一層進展する中でも持続可能な社会を実現する

~ 基本とする価値観 ~

人間としての尊厳の尊重 個人意思による選択の尊重

~ 国民が直面している課題と求められている社会像 ~

望むサービスを選択できない

選択可能なサービスの拡大

サービス供給の安定性が確保されていない

現場魅力の改善による必要十分なサービス供給

正確な情報が伝わらない

自らの価値観に基づいた判断を行うに十分な情報提供

医療費の負担感が大きい

社会の構造変化を踏まえたナショナルミニマムの実現

~ 具体的方策 ~

一人ひとりが“幸せな生き方”を選べる社会

社会保障にかかる制度改革

- ナショナルミニマムを保障する公的制度和民間の力を活用する制度との役割分担の見直し
- 混合診療の全面解禁
- 既存施設の転用等を促す、介護・保育施設にかかる設置規制・基準の適切な見直し

ドラッグ・ラグ、デバイス・ラグの短縮・解消

- 治験・審査体制の拡充・効率化
- 審査官個人に対する免責事項・要件の確立
- 諸外国の状況に関する国民への情報提供
- 安全性を検証・評価する場としての特区制度の活用

先端医療への投資促進

- 医療ツーリズムの振興等を通じた高度医療機器等の稼働率向上
- 重度医療への医療費の重点投入
- 企業のイノベーションを促進する観点に立った、医療機器・薬剤等の評価ルール見直し

事業者の創意工夫により、多様なサービスが効率的に提供される社会

- 投資と剰余金処分に関する経営の自由度拡大
- 事業者間における競争条件の同一化
- 医療法人の理事長職における資格要件の見直し
- 遠隔医療を利用した在宅療養の実現
- 国民共通番号制度を活用した、審査請求事務の効率化とエビデンスの蓄積

➢ 現場の実態に即した個人情報保護制度の見直し

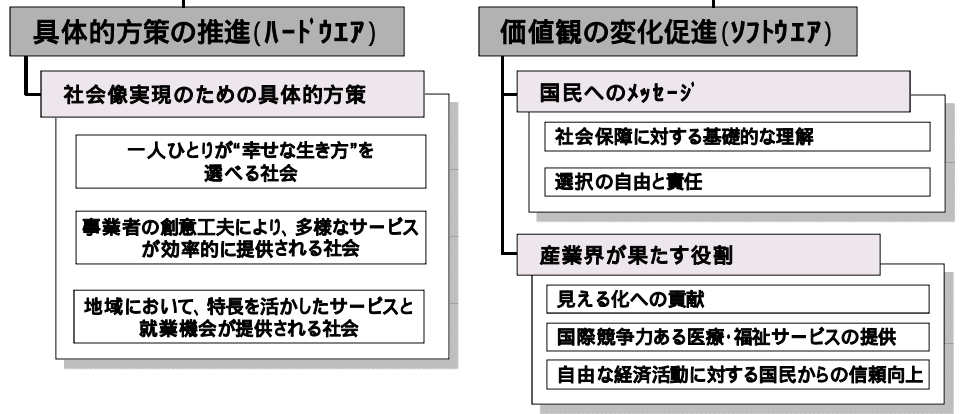
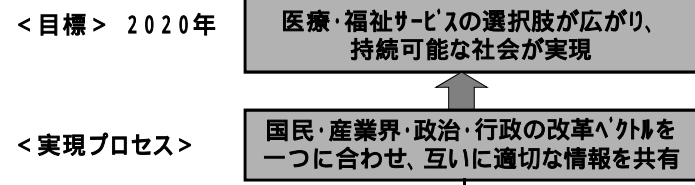
➢ 外国人専門人材の生活インフラ整備

➢ 看護・介護職等における資格審査制度の見直し

地域において、特長を活かしたサービスと就業機会が提供される社会

- 収益性の改善を伴った、従事者の待遇改善
- 従事者への多様な働き方の選択肢・キャリアパスの提示
- 医師と他の医療系有資格者との役割分担の見直し
- 地域の実情に応じた、施設設置基準の緩和

~ 本提言のフレームワーク ~



~ 国民と産業界が共有すべき現状認識 ~

医療費・医療制度の現状

65歳以上の年間の平均医療費は15~44歳の約7倍、  
45~64歳の約3倍に達する

フリーアクセスの長所・短所

混合診療が認められていない

個人の生涯を追ってみると、受益が負担に比べ明らかに大きい

医療・福祉分野における国際競争の現状

わが国の研究開発拠点としての魅力低下

人口オーナス社会に即したインフラ整備の遅れ

~ 国民へのメッセージ ~

より満足度の高い“社会保障のすがた”を描くためには、基本的な知識を得るための努力を続けるとともに、人間としての尊厳を尊重したことによって生じる結果に対する責任を理解しなければならない。

社会保障に対する基礎的な理解

- 自助への理解と実践
- 共助・公助に係る制度への理解と貢献

選択の自由と責任

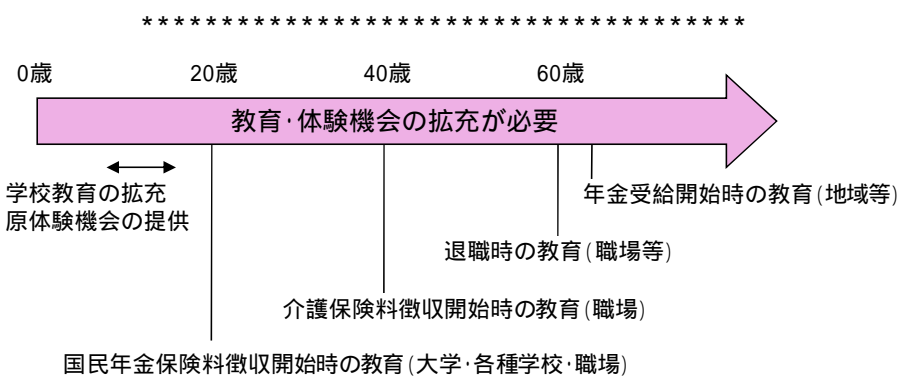


図 生涯を通じて求められる社会保障教育の機会

~ 産業界が果たす役割 ~

人間としての尊厳の尊重という普遍的な価値のもと、利用者、従事者、コスト負担者をはじめとする全てのステークホルダーの満足度を高めるとい、容易ではないミッションを達成するため、一層努力する。

“見える化”への貢献

- メディアとのコミュニケーション強化
- 国際競争力ある財・サービスの提供
- 自由な経済活動に対する国民からの信頼向上